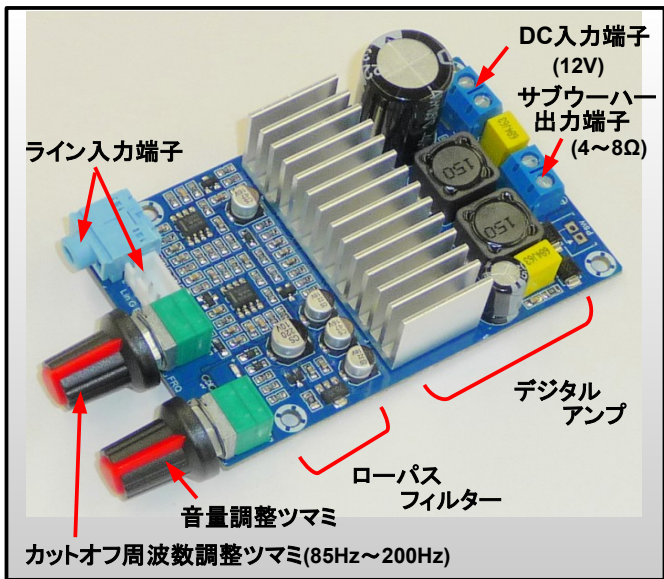


**ローパスフィルター内蔵
サブウーハー用パワーアンプ基板完成品**

WP-AMP-SUB



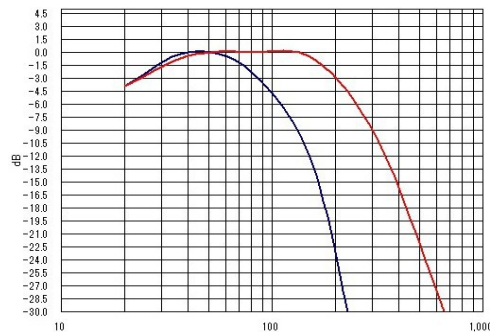
- ・ローパスフィルターとデジタルアンプを一体化
2.1chシステムを簡単に構築できます
- ・カットオフ周波数連続可変 85Hz~200Hz
- ・最大出力 10W (8Ω 負荷 DC12V時)

KYORITSU
共立電子産業株式会社



●主な仕様

- ・電源電圧 DC10V~24V (推奨DC12V)
- ・最大出力 10W (8Ω負荷 DC12V時)
- ・対応サブウーハーインピーダンス 4~8Ω
- ・入力 ラインレベル(200mV~2V)
- ・基板寸法 幅83mm 奥行き55mm 高さ28mm (ツマミ等の突起部含まず)



周波数特性実測例

●お断り

- ・初期不良がありましたら交換させていただきます。お買い上げ後一週間以内に領収書もしくはレシートとともに販売店までお持ちください。
- ・本製品およびそれらを構成するパーツ類は予告なく仕様・外観等を変更する場合がありますをあらかじめご了承ください。
- ・本製品は機器への組込み他、工業製品としての使用を想定いたしておりません。本製品に起因する直接、間接の損害につきましては一切補償はいたしません。

販売元:共立電子産業株式会社

共立プロダクツ事業所

〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西2-5-1

TEL 06-6644-4447 FAX 06-6644-4448

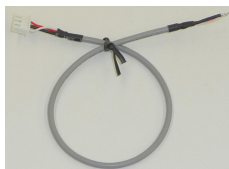
●配線例

「基板」と「付属品」以外はすべて別売です

付属品



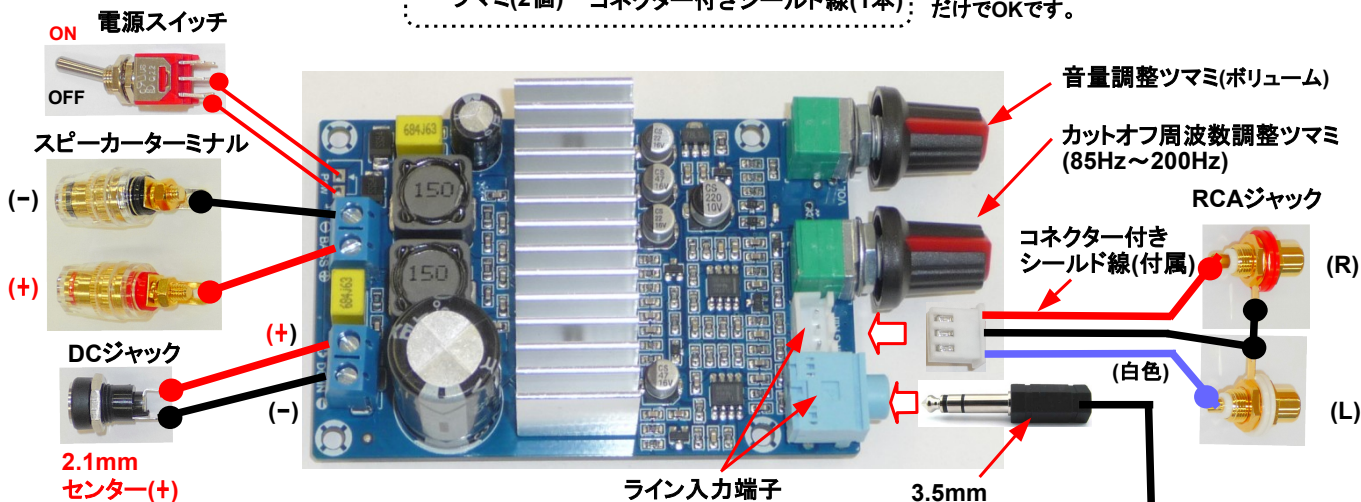
ツマミ(2個)



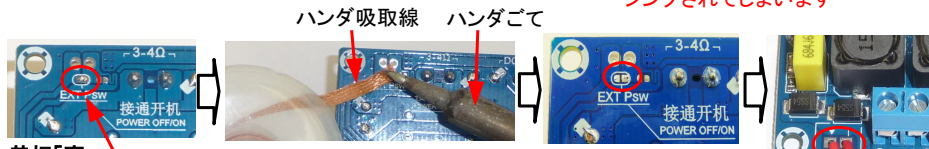
コネクター付きシールド線(1本)

本製品はラインレベルのステレオ信号(R&L)をミキシングして85Hz~200Hz以下の超低域信号だけを取り出すローパスフィルターと、サブウーハーを駆動できるパワーアンプを1枚の基板に組み込んだものです。

ヒトは200Hz以下の音は音源の方向を感じできないと言われておりますのでサブウーハーは1台だけでOKです。



■電源スイッチの取り付け方



①この部分のハンダを「ハンダ吸取線」で吸い取ります

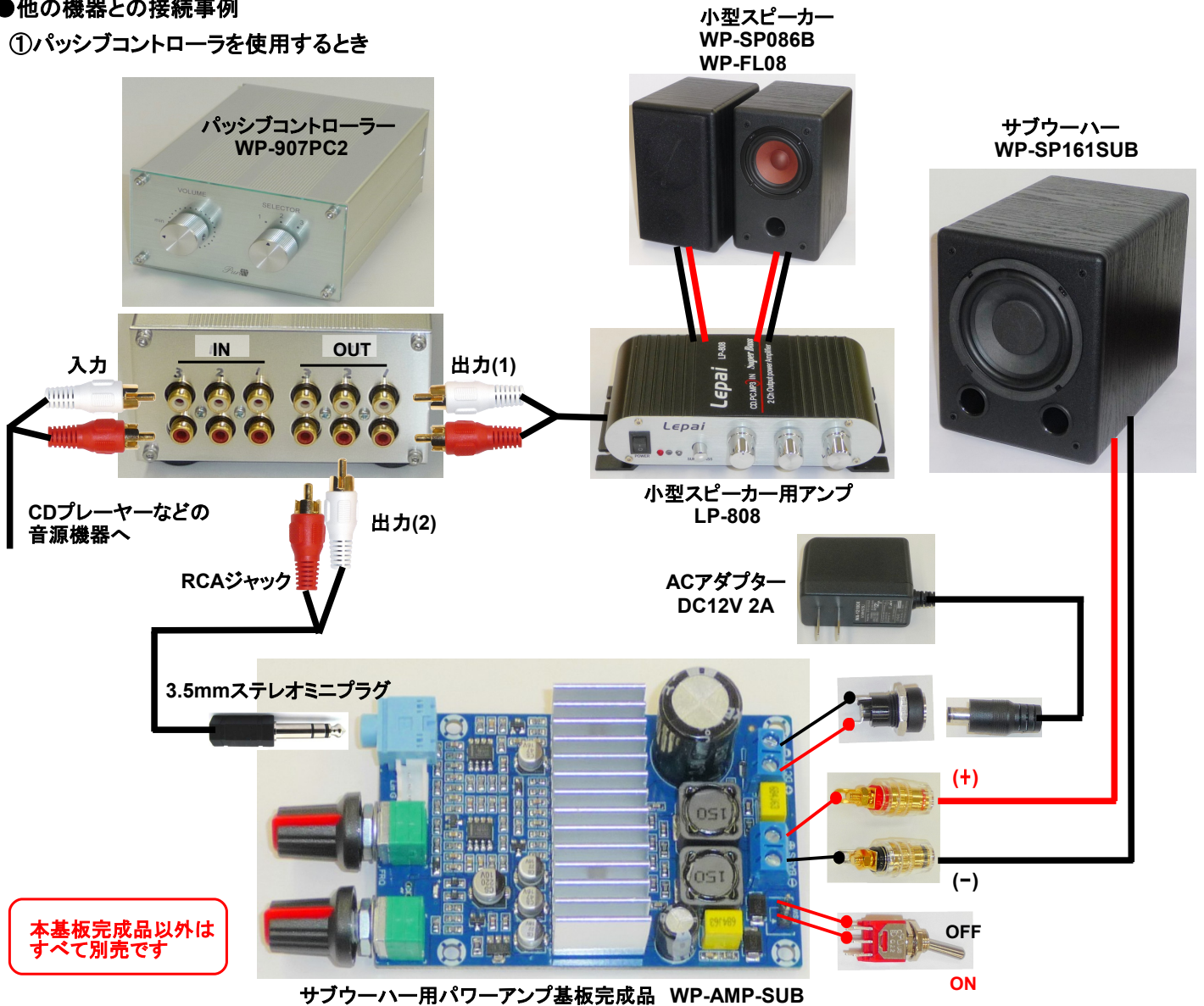
電源スイッチを取付けないときはこの作業は不要です
DCジャックにACアダプターを接続すれば通電(動作)します

基板「表」

②ビニル電線を通して基板「裏」からハンダ付けします
電源スイッチへ

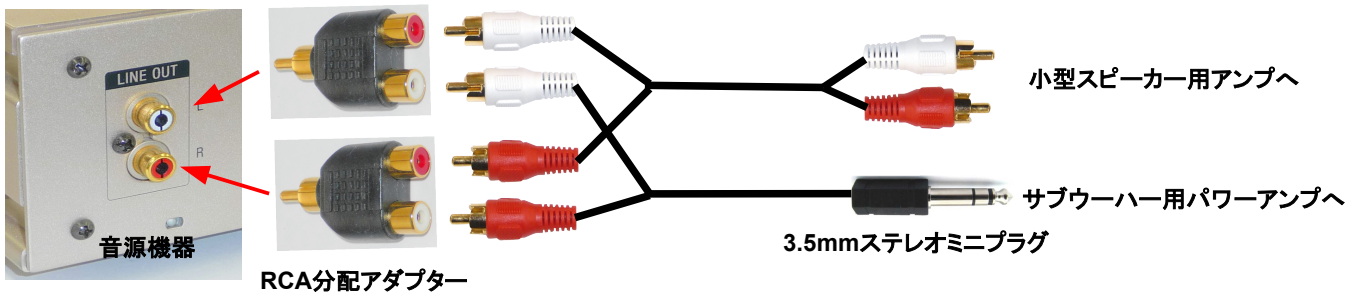
●他の機器との接続事例

①パッシブコントローラを使用するとき



- ・「小型スピーカー用アンプ」のボリュームを最大にしておき、「パッシブコントローラ」のボリュームで小型スピーカーの音量を調整します。その後「サブウーハー用パワーアンプ」のボリュームでサブウーハーの音量を調整します。
- ・2台のアンプの音量調整は「パッシブコントローラ」のボリュームで同時に行うことができます。

②パッシブコントローラを使用しないとき



- ・CDプレーヤーなど音源機器の出力を「RCA分配アダプター」で2分配して「小型スピーカー用アンプ」と「サブウーハー用パワーアンプ」に接続します。
- ・小型スピーカーを通常の音量にセットしたあとでサブウーハーの音量を調整します。

●アクリルケースに組み込んだ製作事例

厚さ3mmのアクリル板でケースを製作した事例です。前ページの配線例に合わせてスピーカーターミナルや電源スイッチを配置しました。

